بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

## イスラームの英雄

### 第 15 巻

# ウクバ・ブン・ナーフィウ

北アフリカの征服者、カイラワーンの創設者 — クルアーン、真正なハディース、歴史書に基づいて

۞إِنَّ ٱللَّهَ ٱشۡتَرَىٰ مِنَ ٱلۡمُؤۡمِنِينَ أَنفُسَهُمۡ وَأَمۡوَٰلَهُم بِأَنَّ لَهُمُ ٱلۡجَنَّةَۚ يُقَٰتِلُونَ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ فَيَقۡتُلُونَ وَيُقۡتَلُونَۖ وَعۡدًا عَلَيۡهِ حَقّٗا فِي ٱلتَّوۡرَىٰةِ وَٱلۡإِنجِيلِ وَٱلۡقُرۡءَانِۚ وَمَنۡ أَوۡفَىٰ بِعَهۡدِهِۦ مِنَ ٱللَّهِۚ فَٱسۡتَبۡشِرُواْ بِبَيۡعِكُمُ ٱلَّذِي بَايَعۡتُم بِهِۦۚ وَذَٰلِكَ هُوَ ٱلۡفَوۡزُ ٱلۡعَظِيمُ ١١١

「本当にアッラーは，信者たちからその生命と財産を贖われた。かれらのため（の代償）は，楽園である。かれらはアッラーの道のために戦い，殺し，また殺される。それは律法と福音とクルアーンとを通じて，かれが結ばれる真実な約束である。誰がアッラー以上に，約束に忠実であろうか。だからあなたがたが結んだ契約を喜べ。それこそは至上の幸福の成就である。」

悔悟章 9:111

**HJ CHE ALIM HJ CHE HARON**

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

# 謝辞

楽園と引き換えに信者たちからその生命と財産を買い取られたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、そして善をもって彼らに従った後継者たち、とりわけ北アフリカの征服者ウクバ・ブン・ナーフィウ رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

**ザハラ・モハマド・ラティフ**；

愛する子どもたち、

**ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ**；

そして義理の子どもたち、

**ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワン**に捧げます。

『イスラームの英雄』第 15 巻は、ウクバ・ブン・ナーフィウ رضى الله عنه の生涯を語ります。エジプトとバルカでアムル・ブン・アルアースとともに戦い、カイラワーンの町を築き、イスラームを大西洋の岸辺まで届け、タフーザで殉教した指揮官です。その物語は、典拠について正直に語られています。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

## この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは夕日に染まるモロッコの***大西洋の海岸***で、大きな波が岸に打ち寄せ、果てしない海が広がっています。

手前には、波打ち際の***砂に突き立てられた槍***と、それに立てかけられた***盾***があります。ウクバ・ブン・ナーフィウが最西端に達し、海の向こうに陸地があるならアッラーの道のために渡って行こうと祈った瞬間を象徴しています。

遠くには***アトラス山脈***と、北アフリカ様式の***四角いミナレット***が見えます。ウクバが創設したカイラワーンの大モスクを思い起こさせます。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 14 巻と同じデザインです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

# 目次

ウクバ・ブン・ナーフィウ ..... 6
1. ウクバ・ブン・ナーフィウとは誰か ..... 7
2. 教友か、後継者か ..... 8
3. エジプトとバルカでアムル・ブン・アルアースとともに ..... 9
4. 辺境での歳月 ..... 10
5. イフリーキヤの総督 ..... 12
6. カイラワーンの町の創設 ..... 13
7. カイラワーンの大モスク ..... 14
8. ベルベル人への宣教 ..... 16
9. 解任、そして復帰 ..... 18
10. 大西洋への到達 ..... 19
11. 「西の民」と真理 ..... 20
12. クサイラと優しさの大切さ ..... 22
13. タフーザでの殉教 ..... 24
14. ウクバの遺産：北アフリカのイスラーム ..... 27
15. ウクバの人柄と資質 ..... 28
16. ウクバの物語の典拠 ..... 29
17. ウクバの物語の人物と場所 ..... 30
18. ウクバの生涯の年表 ..... 31
19. ウクバについてのよくある質問 ..... 32
20. 教訓と結び ..... 34
参考文献 ..... 35
支援と寄付 ..... 36

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

# ウクバ・ブン・ナーフィウ

歴史書によれば、マグリブの最西端で大西洋の岸に達したある指揮官が、馬を波の中に進めてこう祈りました。*「アッラーよ、もしこの海の向こうに陸地があると知っていたなら、あなたの道のために奮闘しようと、それを渡って行ったでしょう」*。その指揮官こそ、北アフリカの征服者で*カイラワーン*の町の創設者、*ウクバ・ブン・ナーフィウ・アル＝フィフリー* رضى الله عنه です。

彼はヒジュラの一年前にマッカで生まれ、正統カリフたちの時代に育ち、エジプトとバルカでアムル・ブン・アルアースとともに戦いました。ヒジュラ暦 50 年、イフリーキヤ（現在のチュニジア）にイスラームの恒久的な拠点としてカイラワーンを築きました。そしてヒジュラ暦 63 年、現在のアルジェリアのタフーザで殉教しました。

この電子書籍は『*イスラームの英雄*』シリーズの第 15 巻です。ウクバの物語の多くはハディース集ではなく、マグリブ征服の歴史書に由来します。そのため、すべての物語の典拠と等級を正直に示し、その教訓はクルアーンと真正なハディースに基づいています。

ウクバの物語は、疲れを知らない指揮官の物語です。リビアの砂漠からアトラス山脈、大西洋の岸辺まで、今日何億人ものムスリムが暮らす土地にイスラームを届けました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

# ウクバ・ブン・ナーフィウとは誰か

彼の正式な名は*ウクバ・ブン・ナーフィウ・ブン・アブドゥルカイス・アル＝フィフリー・アル＝クラシー*で、クライシュ族の支族フィフル家の出身です。ヒジュラのおよそ一年前にマッカで生まれました。父ナーフィウは早くにイスラームに入りました。歴史資料は、彼をアムル・ブン・アルアースの近親者として伝えています（第 10 巻参照）。

彼は*ファーティフ・イフリーキヤ*（アフリカの征服者）と呼ばれ、歴史書では祈りが聞き届けられる敬虔な人物として知られています。現在のアルジェリアにある彼の墓は、彼の名を冠した町*スィーディ・ウクバ*にあります。

## 名前と称号

| 名前・称号 | 説明 |
|---|---|
| ウクバ・ブン・ナーフィウ | 本名 |
| アル＝フィフリー・アル＝クラシー | クライシュ族フィフル家の出身 |
| ファーティフ・イフリーキヤ | 北アフリカの征服者 |
| カイラワーンの創設者 | ヒジュラ暦 50 年に築いた町 |
| スィーディ・ウクバ | 彼の墓があるアルジェリアの町 |

## 教訓

人の誉れは生まれた時代だけでなく、宗教のために何をしたかにあります。ウクバはアッラーの使徒 ﷺ の時代の後に育ちましたが、その使命を当時知られた世界の果てまで運びました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

## 教友か、後継者か

学者たちは、ウクバを教友（サハーバ）に数えるかどうかについて見解が分かれています。

**典拠の注：アッラーの使徒ﷺの時代に生まれて**

ウクバはアッラーの使徒 ﷺ の時代、ヒジュラのおよそ一年前に生まれました。そのため、彼を教友に数える著者もいます。しかし、彼がアッラーの使徒 ﷺ から何かを聞いた、あるいは伝えたという真正な報告はありません。伝記作家たちは「彼には教友としての交わり（スフバ）があったと言われるが、より明らかなのは、なかったということである」と述べています。

***結論：*** アッラーの使徒 ﷺ の時代に生まれましたが、教友であることは確定しておらず、初期の後継者（タービウーン）に数えられます。本書で رضي الله عنه を用いるのは、学者たちの慣例に従い、初期の世代の戦士に対するアッラーのご満悦を祈る言葉としてです。

**参照：**

イブン・アブドゥルバッル『イスティーアーブ』；イブン・アサーキル『ダマスカス史』；イブン・ハジャル『イサーバ』；ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

## 教訓

学問的な誠実さは、私たちが敬愛する人物についてさえ、確定していることとそうでないことを区別することを求めます。

# エジプトとバルカでアムル・ブン・アルアースとともに

**歴史の注：西への第一歩**

アムル・ブン・アルアースがエジプト（ヒジュラ暦 20〜21 年）、続いてリビアのバルカ（ヒジュラ暦 22 年）を征服したとき、ウクバ・ブン・ナーフィウはその軍にいました。アムルはウクバを南のフェザーンにある***ザウィーラ***まで派遣し、その住民はムスリムと和約を結びました。その後ウクバは長くバルカとその周辺に住み、辺境を守り、ベルベル人の諸部族をイスラームに招きました。

***伝承の等級：***マグリブ征服の歴史書に、真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

**参照：**

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；バラーズリー『諸国征服史』。

## 教訓

偉大な指導者は、たいてい偉大な指導者によって育てられます。ウクバは自ら指揮を執る前に、アムル・ブン・アルアースから戦略と忍耐を学びました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

## 辺境での歳月

ウクバは人生の多くを、マッカやマディーナから遠く離れた辺境で過ごし、イスラームの地を攻撃から守りました。アッラーの使徒 ﷺ は辺境を守ること（リバート）の徳をこう説明されました。

**ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2892 番**

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ مُنِيرٍ، سَمِعَ أَبَا النَّضْرِ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّحْمَنِ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ دِينَارٍ، عَنْ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ سَهْلِ بْنِ سَعْدٍ السَّاعِدِيِّ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " رِبَاطُ يَوْمٍ فِي سَبِيلِ اللَّهِ خَيْرٌ مِنَ الدُّنْيَا وَمَا عَلَيْهَا، وَمَوْضِعُ سَوْطِ أَحَدِكُمْ مِنَ الْجَنَّةِ خَيْرٌ مِنَ الدُّنْيَا وَمَا عَلَيْهَا، وَالرَّوْحَةُ يَرُوحُهَا الْعَبْدُ فِي سَبِيلِ اللَّهِ أَوِ الْغَدْوَةُ خَيْرٌ مِنَ الدُّنْيَا وَمَا عَلَيْهَا ".

**訳：**

サフル・ブン・サアド・アッ＝サーイディーによると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。***「アッラーの道において一日辺境を守ることは、この世とその上にあるすべてのものよりも優れている。***あなたがたの一人の鞭ほどの楽園の場所は、この世とその上にあるすべてのものよりも優れている。しもべがアッラーの道において行う夕べの一歩、朝の一歩は、この世とその上にあるすべてのものよりも優れている」

**伝承経路：** イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ムニール ← アブー・アン＝ナドル・ハーシム・ブン・アル＝カースィム ← アブドゥッラフマーン・ブン・アブドゥッラー・ブン・ディーナール ← アブー・ハーズィム・サラマ・ブン・ディーナール ← サフル・ブン・サアド・アッ＝サーイディー رضى الله عنه。

**出典：** イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、アッラーの道において一日辺境を守ることの徳の章、第 2892 番。

**等級：** サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：* sunnah.com/bukhari:2892

## 教訓

ある英雄は一つの大きな戦いで知られ、ある英雄は遠い地での長年の忍耐で知られます。ウクバは後者です。

# イフリーキヤの総督

**歴史の注：繰り返される問題**

ヒジュラ暦50年、カリフ、ムアーウィヤ・ブン・アビー・スフヤーンはウクバを***イフリーキヤ***（チュニジアとその周辺）の指導者に任命しました。ウクバは繰り返される問題に気づきました。ムスリム軍が来るとベルベル人の一部の部族はイスラームに入りますが、軍がエジプトに引き揚げると、元の宗教に戻ってしまうのです。彼は軍に、イスラームがこの地に根づくよう、軍が定住する町を築く必要があると語りました。

***伝承の等級：***マグリブ征服の歴史書に、真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

**参照：**

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』。

## 教訓

宣教（ダアワ）には一時的な勝利ではなく、継続が必要です。ウクバは先を見通しました。イスラームはこの地を通り過ぎるだけでなく、根を下ろさなければならなかったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

# カイラワーンの町の創設

**歴史の注：荒野の中の町**

ウクバは、ローマ艦隊の攻撃から安全な海岸から離れた場所で、しかも宣教のためにベルベル人の土地に近い場所を選びました。そこは茂みと野獣に満ちていました。歴史書によれば、ウクバは立ち上がり、戦士たちがここに住むのだから去るようにと野獣や蛇に呼びかけ、動物たちは子を抱えて出て行ったといいます。*カイラワーン*の建設はヒジュラ暦 50 年に始まり、およそ五年後に完成しました。

***伝承の等級：*** ヒジュラ暦 50 年にウクバがカイラワーンを築いたことは、歴史家の間で一致しています。野獣が出て行った物語は、歴史書に真正な伝承経路なしで伝えられており、確かな事実としてではなく、歴史上の伝承として語ることができます。

**参照：**

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・アル＝アスィール『完史』；ヤークート・アル＝ハマウィー『諸国辞典』。

カイラワーンはその後、何世紀にもわたってマグリブにおけるイスラーム学問の大きな中心となり、多くのマーリク派の学者を生み出しました。

## 教訓

永続する制度を築くことは、一時の勝利よりも大きな影響を残します。宣教の志をもって築かれた町は、何世紀にもわたって学者を生み出しました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

## カイラワーンの大モスク

ウクバはカイラワーンの中心にモスクを建てました。歴史家たちは、彼と仲間たちがキブラ（礼拝の方向）を正確に定めることに心を砕いたと記しています。後の統治者たちによって再建・拡張されたこのモスクは、今日 ***ウクバ・ブン・ナーフィウのモスク***、またはカイラワーンの大モスクとして知られ、北アフリカで最も古いモスクの一つです。アッラーの使徒ﷺはモスクを建てる者に報奨を約束されました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

**ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 450 番**

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ سُلَيْمَانَ، حَدَّثَنِي ابْنُ وَهْبٍ، أَخْبَرَنِي عَمْرٌو، أَنَّ بُكَيْرًا، حَدَّثَهُ أَنَّ عَاصِمَ بْنَ عُمَرَ بْنِ قَتَادَةَ حَدَّثَهُ أَنَّهُ، سَمِعَ عُبَيْدَ اللَّهِ الْخَوْلاَنِيَّ، أَنَّهُ سَمِعَ عُثْمَانَ بْنَ عَفَّانَ، يَقُولُ عِنْدَ قَوْلِ النَّاسِ فِيهِ حِينَ بَنَى مَسْجِدَ الرَّسُولِ صلى الله عليه وسلم إِنَّكُمْ أَكْثَرْتُمْ، وَإِنِّي سَمِعْتُ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " مَنْ بَنَى مَسْجِدًا ـ قَالَ بُكَيْرٌ حَسِبْتُ أَنَّهُ قَالَ ـ يَبْتَغِي بِهِ وَجْهَ اللَّهِ، بَنَى اللَّهُ لَهُ مِثْلَهُ فِي الْجَنَّةِ ".

**訳：**

ウバイドゥッラー・アル＝ハウラーニーは、ウスマーン・ブン・アッファーンがアッラーの使徒 ﷺ のモスクを（再）建築していたとき、人々が彼について語り合うと、彼がこう言うのを聞きました。「あなたがたは多くを語った。私は預言者 ﷺ がこう言われるのを聞いた。*『モスクを建てる者は――ブカイルは言った。「それによってアッラーのお顔を求めて」と言われたと思う――アッラーは楽園に彼のためにそれと同じものを建てられる』*」

**伝承経路：** イマーム・ブハーリーの伝承：ヤフヤー・ブン・スライマーン ← アブドゥッラー・ブン・ワフブ ← アムル・ブン・アル＝ハーリス ← ブカイル・ブン・アル＝アシャッジ ← アースィム・ブン・ウマル・ブン・カターダ ← ウバイドゥッラー・アル＝ハウラーニー ← ウスマーン・ブン・アッファーン رضي الله عنه。

**出典：** イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』礼拝の書、モスクを建てる者の章、第 450 番。

**等級：** サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：* sunnah.com/bukhari:450

## 教訓

モスクはムスリム社会の心臓です。ウクバは町をモスクから始め、そのモスクは今も建っています。

## ベルベル人への宣教

征服の目的は土地を奪うことではなく、人々を導きへと連れて行くことです。ウクバとその後の指導者たちの時代に、多くのベルベル人の部族がイスラームに入り、やがて彼ら自身がイスラームをアンダルスや西アフリカへと運ぶ担い手となりました。アッラーの使徒 ﷺ はハイバルでこの目的をアリー・ブン・アビー・ターリブに教えられました。

**ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 2942 番**

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ مَسْلَمَةَ الْقَعْنَبِيُّ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْعَزِيزِ بْنُ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ سَهْلِ بْنِ سَعْدٍ ـ رضى الله عنه ـ سَمِعَ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ يَوْمَ خَيْبَرَ " لأُعْطِيَنَّ الرَّايَةَ رَجُلاً يَفْتَحُ اللَّهُ عَلَى يَدَيْهِ ". فَقَامُوا يَرْجُونَ لِذَلِكَ أَيُّهُمْ يُعْطَى، فَغَدَوْا وَكُلُّهُمْ يَرْجُو أَنْ يُعْطَى فَقَالَ " أَيْنَ عَلِيٌّ ". فَقِيلَ يَشْتَكِي عَيْنَيْهِ، فَأَمَرَ فَدُعِيَ لَهُ، فَبَصَقَ فِي عَيْنَيْهِ، فَبَرَأَ مَكَانَهُ حَتَّى كَأَنَّهُ لَمْ يَكُنْ بِهِ شَىْءٌ فَقَالَ نُقَاتِلُهُمْ حَتَّى يَكُونُوا مِثْلَنَا. فَقَالَ " عَلَى رِسْلِكَ حَتَّى تَنْزِلَ بِسَاحَتِهِمْ، ثُمَّ ادْعُهُمْ إِلَى الإِسْلاَمِ، وَأَخْبِرْهُمْ بِمَا يَجِبُ عَلَيْهِمْ، فَوَاللَّهِ لأَنْ يُهْدَى بِكَ رَجُلٌ وَاحِدٌ خَيْرٌ لَكَ مِنْ حُمْرِ النَّعَمِ ".

**訳：**

サフル・ブン・サアドは、預言者 ﷺ がハイバルの日にこう言われるのを聞きました。「私は、アッラーがその手によって勝利をもたらされる男に旗を授けよう」。人々は、それが自分に授けられることを願って立ち上がりました。翌朝、誰もが自分に授けられることを望んでいました。彼は「アリーはどこか」と尋ねられました。「目を患っています」と言われると、彼を呼ぶよう命じ、その目に軽く唾をつけられると、彼はまるで病気などなかったかのようにたちまち癒えました。アリーは「彼らが私たちのようになるまで戦います」と言いました。預言者 ﷺ は言われました。*「落ち着いて進み、彼らの地に着いたら、彼らをイスラームに招き、彼らに課されている義務を告げなさい。アッラーにかけて、アッラーがあなたを通して一人の人を導かれることは、あなたにとって赤いラクダを持つことよりも優れている」*

**伝承経路：** イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・マスラマ・アル＝カアナビー ← アブドゥルアズィーズ・ブン・アビー・ハーズィム ← アブー・ハーズィム・サラマ・ブン・ディーナール ← サフル・ブン・サアド رضى الله عنه。

**出典：** イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、第 2942 番。

**等級：** サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：* sunnah.com/bukhari:2942

## 教訓

一人の人間の導きは、最も貴重な財産よりも価値があります。マグリブ征服の真の成功は、今日なおムスリムである何百万もの人々です。

## 解任、そして復帰

**歴史の注：統治者の決定への忍耐**

ヒジュラ暦55年、ウクバはイフリーキヤの総督を解任され、代わりに*アブー・アル＝ムハージル・ディーナール*が任命されました。歴史上の報告によれば、二人の関係は緊張しており、アブー・アル＝ムハージルはウクバを一時投獄したといいます。ウクバは東方に戻り、反乱を起こしませんでした。ヒジュラ暦62年、カリフ、ヤズィード・ブン・ムアーウィヤはウクバを再びイフリーキヤに送り、彼は西への大遠征を始めました。

***伝承の等級：*** マグリブ征服の歴史書に、真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

**参照：**

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』；イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』。

アブー・アル＝ムハージル自身も功績ある指揮官で、彼の時代に*クサイラ*というベルベル人の首長がイスラームに入りました。

### 教訓

地位は来ては去る預かりものです。ウクバはウンマ（共同体）を分裂させることなく解任を受け入れ、機会が与えられると再び奮闘に戻りました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

# 大西洋への到達

**歴史の注：「その向こうに陸地があると知っていたなら」**

二度目の遠征（ヒジュラ暦 62〜63 年）で、ウクバはザーブ、ターハルト、タンジャを経て西へ、さらに南のモロッコの***スース***へと進み、***大西洋***の岸に達しました。伝えられるところでは、彼は水が馬の胸に届くまで海に馬を進め、こう祈りました。***「アッラーよ、もしこの海の向こうに陸地があると知っていたなら、あなたの道のために奮闘しようと、それを渡って行ったでしょう」***。別の伝承では「アッラーよ、私が果てに達したことをお証しください。この海がなければ、あなたの道のために奮闘しながら国々を進み続けたでしょう」とあります。

***伝承の等級：***マグリブ征服の歴史書に、真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

**参照：**

イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』；マーリキー『魂の庭』。

アッラーは、ご自分の道において奮闘する者に導きを約束されています。

**蜘蛛章 29:69**

وَٱلَّذِينَ جَٰهَدُوا۟ فِينَا لَنَهْدِيَنَّهُمْ سُبُلَنَا ۚ وَإِنَّ ٱللَّهَ لَمَعَ ٱلْمُحْسِنِينَ ﴿٦٩﴾

だがわれ（の道）のために奮闘努力〔ジハード〕する者は，必ずわが道に導くであろう。本当にアッラーは善い行いの者と共におられる。

*訳：三田了一* — quran.com/29:69

## 教訓

信者の志は国境で止まりません。ウクバが止まったのは疲れたからではなく、ただ目の前にもう陸地がなかったからです。

## 「西の民」と真理

アッラーの使徒 ﷺ は、常に真理の上にとどまる一団について告げられました。

**ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1925 番**

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ يَحْيَى، أَخْبَرَنَا هُشَيْمٌ، عَنْ دَاوُدَ بْنِ أَبِي هِنْدٍ، عَنْ أَبِي عُثْمَانَ، عَنْ سَعْدِ بْنِ أَبِي وَقَّاصٍ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " لاَ يَزَالُ أَهْلُ الْغَرْبِ ظَاهِرِينَ عَلَى الْحَقِّ حَتَّى تَقُومَ السَّاعَةُ " .

**訳：**

サアド・ブン・アビー・ワッカースは言いました。アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。*「西の民（アフル・アル＝ガルブ）は、終末の時が来るまで真理の上に勝利し続けるであろう」*

**伝承経路：** イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・ヤフヤー ← フシャイム・ブン・バシール ← ダーウード・ブン・アビー・ヒンド ← アブー・ウスマーン・アン＝ナフディー ← サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه。

**出典：** イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』統治の書、第 1925 番。

**等級：** サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

*典拠：* sunnah.com/muslim:1925

「アフル・アル＝ガルブ」の意味については、学者の間で見解が分かれています。イマーム・アフマドは、シャームがマディーナの西にあることから、シャームの人々であるとしました。他の学者たちは、アラブ人を指す、あるいはマグリブの人々を指すとしました。ナワウィーはその注釈書でこの相違に言及しています。そのため、このハディースがウクバの征服した土地を特に指していると断定することはしません。

## 教訓

私たちは、語っている物語に合うようにハディースの意味を曲げません。ハディースを理解する誠実さは、物語の美しさよりも先に来ます。

# クサイラと優しさの大切さ

### 歴史の注：高くついた過ち

歴史上の報告によれば、ウクバはイフリーキヤに戻ったとき、アブー・アル＝ムハージルを鎖につないで連れて来、イスラームに入ったベルベル人の首長***クサイラ***に厳しく接しました。ウクバは軍の前でクサイラに羊の皮を剥がせ、クサイラは辱められたと感じたと伝えられています。アブー・アル＝ムハージルは、新たにイスラームに入った部族の首長には優しく接するようウクバに助言しましたが、その助言は聞き入れられませんでした。クサイラはその後ムスリム軍を離れ、恨みを抱きました。

***伝承の等級：***マグリブ征服の歴史書に、真正な伝承経路なしで伝えられています。物語はよく知られ、歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

**参照：**

イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』。

アッラーの使徒 ﷺ は、優しさは厳しさでは開けない扉を開くと教えられました。

**ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2593 番**

حَدَّثَنَا حَرْمَلَةُ بْنُ يَحْيَى التُّجِيبِيُّ، أَخْبَرَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ وَهْبٍ، أَخْبَرَنِي حَيْوَةُ، حَدَّثَنِي ابْنُ الْهَادِ، عَنْ أَبِي بَكْرِ بْنِ حَزْمٍ، عَنْ عَمْرَةَ، - يَعْنِي بِنْتَ عَبْدِ الرَّحْمَنِ - عَنْ عَائِشَةَ، زَوْجِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " يَا عَائِشَةُ إِنَّ اللَّهَ رَفِيقٌ يُحِبُّ الرِّفْقَ وَيُعْطِي عَلَى الرِّفْقِ مَا لاَ يُعْطِي عَلَى الْعُنْفِ وَمَا لاَ يُعْطِي عَلَى مَا سِوَاهُ " .

**訳：**

預言者 ﷺ の妻アーイシャによると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。 *「アーイシャよ、アッラーは優しく、優しさを愛される。アッラーは優しさに対して、厳しさにも、ほかの何ものにも与えられないものを与えられる」*

**伝承経路：** イマーム・ムスリムの伝承：ハルマラ・ブン・ヤフヤー・アッ＝トゥジービー ← アブドゥッラー・ブン・ワフブ ← ハイワ・ブン・シュライフ ← ヤズィード・ブン・アル＝ハード ← アブー・バクル・ブン・ハズム ← アムラ・ビント・アブドゥッラフマーン ← アーイシャ رضى الله عنها。

**出典：** イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・礼儀の書、第 2593 番。

**等級：** サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

*典拠：* sunnah.com/muslim:2593

## 教訓

偉大な英雄も過ちを犯すことがあります。この物語はウクバをおとしめるためではなく、教訓を得るために語られます。人々の尊厳、とりわけイスラームに入ったばかりの人々の尊厳を守ることは、宣教の一部なのです。

# タフーザでの殉教

### 歴史の注：一人の戦士の最期

ヒジュラ暦63年、大西洋からの帰途、ウクバは軍を分け、およそ三百人だけを連れて戻っていました。クサイラはベルベル人とローマ人の大軍を集め、現在のアルジェリアのビスクラ近郊にある***タフーザ***で彼らを襲いました。伝えられるところでは、ウクバはアブー・アル＝ムハージルの鎖を解いて帰るよう求めましたが、アブー・アル＝ムハージルは彼とともに戦うことを選びました。二人は、ほぼ全軍とともに殉教しました。クサイラはその後しばらくカイラワーンを支配しましたが、後のムスリムの指導者たちによって奪還されました。

***伝承の等級：*** ヒジュラ暦 63 年にウクバがタフーザで殉教したことは、歴史家の間で一致しています。物語の詳細は、歴史書に真正な伝承経路なしで伝えられています。

**参照：**

イブン・アル＝アスィール『完史』；イブン・イザーリー『マグリブ情報の書』；イブン・ハルドゥーン『歴史』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

アッラーは信者たちの生命と財産を買い取られました。

**悔悟章 9:111**

۞إِنَّ ٱللَّهَ ٱشۡتَرَىٰ مِنَ ٱلۡمُؤۡمِنِينَ أَنفُسَهُمۡ وَأَمۡوَٰلَهُم بِأَنَّ لَهُمُ ٱلۡجَنَّةَۚ يُقَٰتِلُونَ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ فَيَقۡتُلُونَ وَيُقۡتَلُونَۖ وَعۡدًا عَلَيۡهِ حَقًّا فِي ٱلتَّوۡرَىٰةِ وَٱلۡإِنجِيلِ وَٱلۡقُرۡءَانِۚ وَمَنۡ أَوۡفَىٰ بِعَهۡدِهِۦ مِنَ ٱللَّهِۚ فَٱسۡتَبۡشِرُواْ بِبَيۡعِكُمُ ٱلَّذِي بَايَعۡتُم بِهِۦۚ وَذَٰلِكَ هُوَ ٱلۡفَوۡزُ ٱلۡعَظِيمُ ١١١

本当にアッラーは，信者たちからその生命と財産を贖われた。かれらのため（の代償）は，楽園である。かれらはアッラーの道のために戦い，殺し，また殺される。それは律法と福音とクルアーンとを通じて，かれが結ばれる真実な約束である。誰がアッラー以上に，約束に忠実であろうか。だからあなたがたが結んだ契約を喜べ。それこそは至上の幸福の成就である。

*訳：三田了一* — quran.com/9:111

そしてアッラーの使徒 ﷺ は、誠実に殉教を願う者に殉教者の位を約束されました。

**ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1909 番**

حَدَّثَنِي أَبُو الطَّاهِرِ، وَحَرْمَلَةُ بْنُ يَحْيَى، - وَاللَّفْظُ لِحَرْمَلَةَ - قَالَ أَبُو الطَّاهِرِ أَخْبَرَنَا وَقَالَ، حَرْمَلَةُ حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ وَهْبٍ، حَدَّثَنِي أَبُو شُرَيْحٍ، أَنَّ سَهْلَ بْنَ أَبِي أُمَامَةَ بْنِ سَهْلِ، بْنِ حُنَيْفٍ حَدَّثَهُ عَنْ أَبِيهِ، عَنْ جَدِّهِ، أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " مَنْ سَأَلَ اللَّهَ الشَّهَادَةَ بِصِدْقٍ بَلَّغَهُ اللَّهُ مَنَازِلَ الشُّهَدَاءِ وَإِنْ مَاتَ عَلَى فِرَاشِهِ " .

**訳：**

サフル・ブン・アビー・ウマーマ・ブン・サフル・ブン・フナイフが、父から、その父が祖父から伝えるところによると、預言者 ﷺ はこう言われました。*「誠実にアッラーに殉教を願う者は、たとえ寝床の上で死んでも、アッラーは彼を殉教者たちの位に至らせられる」*

**伝承経路：** イマーム・ムスリムの伝承：アブー・アッ＝ターヒルとハルマラ・ブン・ヤフヤー ← アブドゥッラー・ブン・ワフブ ← アブー・シュライフ・アブドゥッラフマーン・ブン・シュライフ ← サフル・ブン・アビー・ウマーマ ← アブー・ウマーマ・ブン・サフル ← サフル・ブン・フナイフ رضى الله عنه。

**出典：** イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』統治の書、第 1909 番。

**等級：** サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

*典拠：* sunnah.com/muslim:1909

## 教訓

良い最期は賜物です。かつて意見を異にしたウクバとアブー・アル＝ムハージルは、同じ戦場でともに倒れました。この世の争いは消え、残ったのはアッラーの道における奮闘でした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 | 

## ウクバの遺産：北アフリカのイスラーム

ウクバの殉教の後、ズハイル・ブン・カイス、ハッサーン・ブン・アン＝ヌウマーン、ムーサー・ブン・ヌサイルといったムスリムの指導者たちがマグリブの征服を完成させました。その地から、ムスリムのベルベル人ターリク・ブン・ズィヤードがヒジュラ暦 92 年にアンダルスへ渡りました（インシャーアッラー第 16 巻で）。カイラワーンは学問の中心となり、アルジェリアのスィーディ・ウクバの町にあるウクバの墓は今も訪れる人が絶えません。

ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ は、大地はアッラーのものであると民に思い起こさせました。

**高壁章 7:128**

قَالَ مُوسَىٰ لِقَوْمِهِ ٱسْتَعِينُوا۟ بِٱللَّهِ وَٱصْبِرُوٓا۟ ۖ إِنَّ ٱلْأَرْضَ لِلَّهِ يُورِثُهَا مَن يَشَآءُ مِنْ عِبَادِهِۦ ۖ وَٱلْعَٰقِبَةُ لِلْمُتَّقِينَ ﴿١٢٨﴾

ムーサーはその民に言った。「アッラーの御助けを祈り，耐え忍べ。本当に大地はアッラーの有である。かれは御好みになるしもべたちに，これを継がせられる。最後は（主に対し）義務を果す者に，帰するのである。」

*訳：三田了一* — quran.com/7:128

### 教訓

英雄は奮闘の実りを見ることなく倒れるかもしれません。しかし、彼が蒔いた種は育ち続けます。良き結末は敬虔な者たちのものです。

## ウクバの人柄と資質

歴史上の報告によれば、ウクバは次のような資質をもつ人物として描かれています。典拠の多くは歴史書であるため、これらの資質は歴史上の肖像として示し、その教訓は真正な典拠に基づいています。

| 資質 | 彼の物語からの例 |
|---|---|
| 辺境での忍耐 | バルカとイフリーキヤでの歳月 |
| 先見性 | カイラワーンを恒久的な拠点として築いたこと |
| モスクへの愛 | 町を大モスクから始めたこと |
| 高い志 | 大西洋の岸での祈り |
| カリフへの服従 | 反乱せずに解任を受け入れたこと |
| 過ちを犯しうる人間 | クサイラへの厳しさ |
| 殉教への憧れ | タフーザで倒れたこと（ヒジュラ暦 63 年） |

### 教訓

私たちは英雄たちの善から手本を、過ちから教訓を得ます。彼らをおとしめることも、神聖視することもしません。

## ウクバの物語の典拠

この表は各物語の典拠と等級をまとめたもので、読者が真正なものと単に有名なものとを区別できるようにしています。

| 物語 | 典拠 | 等級 |
|---|---|---|
| 使徒 ﷺ の時代に生まれた | イブン・アブドゥルバッル；イブン・ハジャル | 教友性は未確定 |
| エジプトとバルカでアムルとともに | イブン・アブドゥルハカム；バラーズリー | 歴史 |
| リバートの徳 | 『サヒーフ・ブハーリー』2892 | サヒーフ |
| カイラワーンの創設（ヒジュラ暦 50 年） | 歴史書 | 一致した事実 |
| 野獣がカイラワーンを去った | 歴史書 | 真正な経路なし |
| モスク建設の報奨 | 『サヒーフ・ブハーリー』450 | サヒーフ |
| 一人の人を導くこと | 『サヒーフ・ブハーリー』2942 | サヒーフ |
| 大西洋の岸での祈り | イブン・アル＝アスィール；イブン・イザーリー | 歴史 |
| 「西の民は勝利し続ける」 | 『サヒーフ・ムスリム』1925 | サヒーフ；意味に異論 |
| クサイラの物語 | イブン・アル＝アスィール；イブン・イザーリー | 歴史 |
| アッラーは優しさを愛される | 『サヒーフ・ムスリム』2593 | サヒーフ |
| タフーザでの殉教（ヒジュラ暦 63 年） | 歴史書 | 一致した事実 |
| 誠実に殉教を願うこと | 『サヒーフ・ムスリム』1909 | サヒーフ |

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

# ウクバの物語の人物と場所

| 人物 | 役割 |
|---|---|
| アムル・ブン・アルアース | エジプトとバルカでの近親者・指揮官（第 10 巻） |
| ムアーウィヤ・ブン・アビー・スフヤーン | ヒジュラ暦 50 年に彼を任命したカリフ |
| アブー・アル＝ムハージル・ディーナール | 後任者、のちに彼とともに殉教 |
| ヤズィード・ブン・ムアーウィヤ | ヒジュラ暦 62 年に彼を復帰させたカリフ |
| クサイラ | タフーザで彼を襲ったベルベル人の首長 |
| ズハイル・ブン・カイス | カイラワーンを奪還した指揮官 |

| 場所 | 出来事 |
|---|---|
| マッカ | 生誕地（ヒジュラ前 1 年ごろ） |
| バルカとザウィーラ（リビア） | アムル・ブン・アルアースとともに（ヒジュラ暦 22 年） |
| カイラワーン（チュニジア） | 彼が築いた町（ヒジュラ暦 50 年） |
| タンジャとスース（モロッコ） | 西への遠征（ヒジュラ暦 62〜63 年） |
| 大西洋の岸 | 有名な祈り |
| タフーザ（アルジェリア） | 殉教の地（ヒジュラ暦 63 年） |
| スィーディ・ウクバ（アルジェリア） | 墓のある地 |

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

## ウクバの生涯の年表

| 年 | 出来事 |
|---|---|
| ヒジュラ前 1 年ごろ | マッカで誕生 |
| ヒジュラ暦 20〜22 年 | エジプト、バルカ、ザウィーラでアムル・ブン・アルアースとともに |
| ヒジュラ暦 50 年 | イフリーキヤ総督に任命；カイラワーンを創設 |
| ヒジュラ暦 55 年 | 解任；アブー・アル＝ムハージル・ディーナールが後任に |
| ヒジュラ暦 62 年 | ヤズィード・ブン・ムアーウィヤによりイフリーキヤに復帰 |
| ヒジュラ暦 62〜63 年 | 大西洋への西方遠征 |
| ヒジュラ暦 63 年 | アブー・アル＝ムハージルとともにタフーザで殉教 |

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

# ウクバについてのよくある質問

この章では、ウクバ・ブン・ナーフィウ رضى الله عنه についてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔にし、詳細はこれまでの章にあります。

### 1. ウクバの正式な名は何ですか。

ウクバ・ブン・ナーフィウ・ブン・アブドゥルカイス・アル＝フィフリー・アル＝クラシーです。

### 2. ウクバは教友ですか。

アッラーの使徒 ﷺ の時代に生まれましたが、教友であることは確定しておらず、初期の後継者に数えられます。

### 3. アムル・ブン・アルアースとの関係は。

アムルの近親者で、エジプトとバルカで彼とともに戦いました。

### 4. カイラワーンはいつ築かれましたか。

ヒジュラ暦 50 年で、およそ五年後に完成しました。

### 5. なぜウクバはカイラワーンを築いたのですか。

ムスリム軍がイフリーキヤに定住し、イスラームがそこに根づくようにするためです。

### 6. 大西洋の岸でのウクバの祈りは。

海の向こうに陸地があれば、アッラーの道のために渡って行こうというものでした（歴史上の伝承）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

### 7. 『サヒーフ・ムスリム』1925 の「アフル・アル＝ガルブ」とは。

見解が分かれています。イマーム・アフマドによればシャームの人々、他の見解ではアラブ人、あるいはマグリブの人々です。

### 8. クサイラとは誰ですか。

イスラームに入り、のちにタフーザでウクバを襲ったベルベル人の首長です。

### 9. クサイラの物語の教訓は。

優しさと人々の尊厳を守ることです。「アッラーは優しさを愛される」（『サヒーフ・ムスリム』2593）。

### 10. ウクバはいつ、どこで殉教しましたか。

ヒジュラ暦 63 年、現在のアルジェリアのビスクラ近郊タフーザです。

### 11. 誰が彼とともに殉教しましたか。

アブー・アル＝ムハージル・ディーナールと、ほぼ全軍です。

### 12. ウクバの物語の最大の教訓は。

高い志、辺境での忍耐、そして先を見通した宣教です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

## 教訓と結び

ウクバ・ブン・ナーフィウ رضى الله عنه の物語は、アムル・ブン・アルアースに従ってエジプトへ向かったクライシュ族の若者に始まり、イスラームを大西洋の岸辺まで届けた後、アルジェリアの地で殉教した戦士で終わります。

| 教訓 | ウクバの物語から |
|---|---|
| 辺境での忍耐 | 「アッラーの道において一日辺境を守ることは…」 |
| 永続する宣教 | カイラワーンの創設 |
| 社会の心臓としてのモスク | カイラワーンの大モスク |
| 導きは財産よりも尊い | 「…赤いラクダよりも優れている」 |
| 宣教における優しさ | 「アッラーは優しさを愛される」 |
| 高い志 | 大西洋の岸での祈り |
| 典拠への誠実さ | 真正なハディースと歴史上の伝承の区別 |

私たちがウクバに倣うことができますように。宗教のために高い志をもち、長い奮闘に耐え、ウンマのために永続するものを築き、アッラーへの呼びかけにおいて優しくあることを。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、イスラームのもう一人の英雄の物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | 

# 参考文献

## クルアーンと注釈

聖クルアーン、ウスマーン体の本文と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（悔悟章 9:111；蜘蛛章 29:69；高壁章 7:128）。

## ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』450、2892、2942。sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』1909、1925、2593。sunnah.com/muslim

ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』。

## 歴史書と伝記

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服』。

バラーズリー『諸国征服史』。

イブン・アル＝アスィール『完史』。

イブン・イザーリー・アル＝マッラークシー『マグリブ情報の書』。

イブン・ハルドゥーン『イバルの書』。

イブン・アブドゥルバッル『イスティーアーブ』；イブン・ハジャル『イサーバ』；ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

Wikipedia「Uqba ibn Nafi」。en.wikipedia.org/wiki/Uqba_ibn_Nafi

## QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 14 巻：サアド・ブン・ムアーズまで。とくに第 10 巻：アムル・ブン・アルアース。quranscience.my/#pahlawan

## 支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません。**研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません。**アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

**雌牛章 2:261**

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

**サバア章 34:39**

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

**ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番**

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

**訳：**

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

**伝承経路：** イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

**出典：** イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

**等級：** サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

**ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番**

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيد - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

**訳：**

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

**伝承経路：** イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

**出典：** イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

**等級：** サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

## ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）




上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience